

人間存在の在り方を考えよう

立川国際友好協会 会長 齋藤 實



イギリスの哲学者J・Sミルは、代表作「自由論」の中で、社会の進歩は何かを創り出すときであり、創造性の原点は、「個人の自由」と「社会の多様性」であると意義づけています。

ところが、日本人は単一民族・単一言語を

背景として同質な社会を求めてきた歴史があります。この同一性や同質性が日本の強さを作り上げてきたという識者も多くいます。しかし、日本の現状を見ると世界の潮流の中で、何か新しいものを生み創り出す力が後回しになり、後手に回っている現実があります。かつてジャパン・アズ・ナンバーワンと評された時代と違い政治・経済・科学の分野でも我が国の評価は、国際的に下降傾向になっております。

この要因には、いろいろ考えられますが国際社会の中で、孤立化が進むようなことになってはなりません。このムードを脱却するためには、日本は世界に開かれた人間力を発揮すべきです。入管法の改正は、そのための一つの窓口になろうかと思われれます。さらに窓口を広げるためには、社会的弱者に対しても人権力を高める必要があります。社会的弱者は生産活動の場では効率が良くなくても、いろいろな人間的価値を持ち、そのことにより社会を豊かにしていく、という多様性を持つ潜在能力を持っています。そこからお互いに学びあい、経験を分かち合い人間的な創造力を発揮させることができるという理解が大切です。このような考え方を確立する人権意識が、日本社会にはまだ遅れていると言わざるを得ない現状があります。

人間というのは、いろんな能力や性格を持っています。その一面を取り上げてその人にレッテルを付けてしまう。それを維持しながら社会の仕組みも維持しようとする。そこに「差別の役割」が生じてくるのです。差別は結局、人間にレッテルを貼ることです。差別は結果として人間を人間としてではなく物として扱うことになるのです。我々は、多文化共生社会を志向するためにも、単なるスローガンを掲げるだけでなく、根源的な人間存在の在り方の思考を深めなければなりません。

木曜教室開講式

4月4日、柴崎学習館にて開講式が行われました。副会長の近藤さんの司会で始まり、まずは齋藤会長が挨拶すると、「おはようございます。」と受講生やボランティアの大きな声が作業室全体に響き渡りました。今年度も楽しく、仲良く、元気よく、をスローガンに活動していきましようと言ったあと、立川市役所協働推進課の大須賀課長から、私達ボランティアにとって心あたたまのお言葉をいただくことが出来ました。式は順調に進み、近藤さんから各

部の部長、副部長の紹介、また、日本語木曜教室担当部長の佐藤さんから保育士の紹介がありました。終了後、新規の受講生も一緒に授業を開始しました。



土曜教室開講式

4月6日(土) 開講式が柴崎学習館の3階作業室にて開催されました。橋本副会長の開会の辞、司会で始まり、齋藤会長から、ボランティア講師、受講生に「楽しく、仲良く元気よく」日本語を教え、学ぼうとの会長挨拶がありました。続いて協働推進課 大須賀課長より、①4月1日より改正出入国管理法が施行され、今後、労働目的で日本に滞在する外国人が増えることが予想され、より一層TIFAとの連携が必要になること。②5月1日から年号が「令和」に代わること。等の挨拶を頂きました。その後、2班に分かれての記念写真撮影があり、「平成」最後の開講式が終了。各々教室に戻り、「日本語」の勉強を始めました。



土曜教室ボランティアの紹介

氏名：高橋 珠美 女性 60代後半 住所：立川市柏町



TIFA入会時期：2012年

入会理由：国際交流に興味があり、退職後、日本語講師の資格をとり、国際交流の手助けができればと、入会しました。

今まで教えた受講生：2017年までは、田舎と立川との往復の生活でしたので、同じ学習者を長く教えることは、出来ませんでした。今まで教えた学習者で一番長かったのは、日本の企業に勤めるベトナムの男性でして、N3を目指しており自分から教材を持ってきました。次に長かったのは、日本人と結婚したタイの女性でした。『みんなの日本語2』を中心に学習しました。それ以後の方々は、短期間の初心者の方が多かったです。

どの様に教えているか：初級の方は希望にそって、平仮名、片仮名の読み書き、『みんなの語1』などに取り組み、職場で必要な日常会話の練習もしました。

木曜教室ボランティアの紹介

氏名：小町 美彌子 女性 住所：昭島市



TIFA入会時期：1996年

入会理由：人間が好き、出会いを大切に、教師の経験を生かせたらと思い入会しました。

教室で心がけていること：まずは受講生に「日本語教室に来てよかった。」このような週一回の楽しい学習の場になる様に心掛けています。また、受講生と学習内容をよく話し合い、90分という貴重な時間を例えば「文字」「文章」「会話」などの配分に注意しながら進めています。負担にならない程度に宿題も出します。そして笑顔で「おはようございます。」「また来週お会いしましょう。」という挨拶が、いつまでも交わされます様にと願いながら続けていきたいと思っています。

氏名：鈴木 洋子 女性 住所：立川市

TIFA入会時期：2008年

入会理由：和やかな雰囲気の中でボランティアと受講生の一对一の授業振りを参観して、私も国際交流のボランティアができればと感じたからです。

どの様に教えているか：初めて教室に来た受講生には「新文化初級日本語I」を使って生活会話から教えています。挨拶は「お



はようございます」昼は「こんにちは」夕刻から夜にかけては「こんばんは」を何時頃使ったらよいのか。また、買い物はスーパーマーケットやデパートの広告を見せながら「合計は

いくらですか？ おつりはいくらですか？」の質問には「1万円札を出すから大丈夫、日本のお店、間違えたことないです。」と答えます。おらかな生徒が多いです。また、わからない言葉があると「スマホ」で自国語に変換して覚えたりしています。最近、勤務先の上役から「日本語が上手になったね。」と褒められてとても嬉しかったと言っていました。教室には色々なレベルの人が来ます。日本語が上達するのを嬉しく思っています。

氏名：山崎 耕造 男性 70代後半 住所：立川市錦町



TIFA入会時期：1999年

入会理由：オーストラリアでの日本語教師の仕事を終えたので。

教室で心掛けていること：受講生にとって、自分は初めて親しく接する

日本人かも知れない。自分を通して、日本人・日本を知ると思うと、責任の重さと矜持(きょうじ)を痛感します。ずっと上級クラスを担当した経験から、日本語はコロケーションが多い言語だと思います。その辺を注意して教えています。

氏名：富田 康予 女性 住所：立川市富士見町



TIFA入会時期：1994年

入会理由：次男が幼稚園に入園したので、何かできることはないかと考えている時に出会いました。

どのように教えているか：今まで教えた受講生は、39ヶ国。あまりにも多くて驚いています。教え方は臨機応変です。多くの受講生に接してきたおかげで、共通言語がなくてもコミュニケーションをとることができるようになりました。ですから、まず、話し合い(?)ます。それから、状況、要望に応じて教え方を考えます。「みんなの日本語」、チラシ、地図、ことわざ、料理本等を使います。心掛けていることは、相手を尊重すること、楽しく勉強することです。

港区国際交流協会の紹介

港区は総人口に対する外国人人口の割合が7.8%と、都内では新宿区(12.4%)、豊島区(10.4%)、荒川区(8.9%)についで高く、また他の自治体では中国・韓国籍の方々が外国人人口の6割前後を占めているのに対し(立川市は61.3%)、港区は37%と低く、その分欧米の方々の割合が高いといった特徴を示しています。区内に82の大使館があり、インターナショナルスクールや外資系企業なども多く、在住外国人の国籍は130ヶ国にも及んでいます。このような地域事情は、共生のまちづくりや多文化社会の構築など多くの可能性を秘めており、一般財団法人港区国際交流協会(以下、「MIA」)では、さまざまな交流事業、外国人サポート事業、語学講座などを実施しています。

ボランティアのみなさんは、それぞれ文化エクステンジチーム、PRチーム、日本文化紹介チームなどにわかれて活動しています。20代、30代の若者たちはユースチームを組織し、いろいろな国籍の若者たちとの交流をはかるため、毎年1泊2日の箱根合宿を行ったりしています。2019年2月28日現在、個人会員369名、家族会員25組62名、団体会員4組、法人会員1組、学生会員5名という加入状況です。



ユース意見交換会

—— 大使館との連携事業 ——

80を超える大使館が存在するという「地の利」を活かして、連携・交流事業が活発に展開されています。

まずは、各大使館を訪問し、それぞれの国の事情について説明を受け、軽食を取りながら大使館スタッフと交流する「大使

館訪問」。2018年度はドミニカ共和国を訪れ、2019年4月にはスリランカ大使館におじゃまるそうです。



国別紹介デー

また、春・秋年2回、大使館と連携した各国の紹介「国別紹介デー」も開催されています。お国紹介のプレゼンテーションのほか、お国自慢の料理を楽しめるイベントです。2018年度はドイツデー、イタリアデーを開催し、今年度は6月にフィンランドデー、秋にはイラクデーを予定しているそうです。

そして、年間を通じてもっとも多くの方が参加する国際交流の集い「ニューイヤーパーティー」。港区長、各国大使をはじめ、大使館関係者を招いた新年会で、ここでの交流が地域での国際交流活動のきっかけにもなるそうです。

大使館というと、セキュリティ対策も厳しく、近づきにくい印象もありますが、自国や在日自国民について正確で広範な情報をもっている機関であることは確かで、このような交流事業を通じて新たな出会いやより広いネットワークの形成も期待できます。



ニューイヤーパーティー

—— やさしい日本語による地域参加 ——

近年東京では、ベトナムやネパールなどの出身者が急増しており、在住外国人の多国籍化がますます進んでいます。それに伴って、コミュニケーション・ツールとしての外国語も、英語・中国語・ハングルだけでは十分でない状況が生まれています。そこで注目されているのが「やさしい日本語」です。ふつうの日本語で「高台へ避難してください」と言うところを、「高いところへ逃げてください」と言い換えるだけで、まだ日本語に習熟していない外国人の方にも情報を伝えることができます。

MIAでは、2018年度から港区の委託事業として、やさしい日本語を使った外国人と日本人の会話パートナー活動「みなとにほんご友だちの会」を開始しました。会話パートナー活動への参加希望者を募り、「やさしい日本語」講座を受講してもらったうえで、外国人の方とマッチングしパートナー活動をスタートさせるという内容です。

このパートナー活動を通じて、外国人の方々に町内会をはじめとするさまざまな地域活動に参加するきっかけを作ってもらいたい、というのが事業の目的だそうです。

地方自治体の多文化共生の取り組みも、1970年代以降の在住外国人の人権擁護と生活支援から、近年は彼らの地域活動への参加を通して多様性を活かしたまちづくりをめざす時代になったとも言われています。MIAの新規事業は、まさにこのような時代の要請を体現した取り組みだといえるのではないのでしょうか。

木曜教室スピーチ大会

3月21日、スピーチ会を行ないました。陳さんは写真を見せながら台湾の食べ物を紹介してくれました。呉さんは自己紹介を、黒川さんはタイ語と日本語を生かしながら仕事を続けていきたいと語ってくれました。子供たちも楽しみに通っていると話してくれたのは矯さん。菅さんは日本の街も食べ物も日本語も好きと話してくれました。友人との台湾旅行の思い出を語ってくれた張さん。韓さんは日本語で「走る」は中国語では「歩く」など意味が違うことを説明してくれました。游さんと大竹さんは日本での仕事やTIFAで楽しかった話をされ、頼さんは日本

で春といえ
ば桜と話して
くれました。
この日に入
会されたレ
ティゴックさ
んもベトナム
の綺麗な景
色や美味し
いフルーツの
ことを話して
くれました。
来年も楽し
みなスピー
チ会でした。



木曜教室ランチパーティー

3月21日、都心ではソメイヨシノの開花が宣言されましたが柴崎近辺の桜はまだつぼみの状態でした。2018年度の最後

の学習会とスピーチ大会が終わったあとに恒例のランチパーティーが開かれました。机の上には春らしく桜もち、お赤飯、ちらしずしなどのほか参加者お手製の珍しい食べ物が並びました。お彼岸の中日で祝日だったこともあってか参加者は少な目で35人程でしたが、学習者、ボランティアの人たちが一堂に会して会話をしながら和やかなひと時を過ごしました。



日本語アラカルト「ん」の発音

東京で駅名のローマ字表記を見ていると、「ん」が「n」と「m」で表記されていることに気づくと思います。日本語の「ん」は英語の発音では「m」「n」「ng」の3種類に分けられます。

①「Nihombashi (日本橋)」の「m」

「ん」が「m」と表記されるのは、後にbやpなどの破裂音や同じmが続くときで、「ん」は口を閉じ発音しています。

②「Shinjuku (新宿)」の「n」

「n」は舌を上歯茎につけるイメージで発音する音です。「m」以外の「ん」の音が「n」だと考えても良いでしょう。

③もう1つの「ん」は「ng」

「ng」は日本人が意識せずに「ん」という発音をしたときの音に近いといわれています。英語ネイティブの発音では「グ」の部分は発音しません。「香港」のつづりが「Hong Kong」でも「ホングコング」と発音しないのはこのためです。東京の駅名のローマ字表記では、「n」と「m」のみ区別しており、「ng」は「n」と表記されています。

(インターネットより引用し、一部加筆)

TIFA会員動向

【入会者】

木曜教室：佐保山涼子、神原修
土曜教室：工藤菜実、塩入綾子
西砂教室：茶野真由美

【退会者】

木曜教室：中西久代、後藤弘子
土曜教室：阿部祐子、荒井由貴子、鈴木愛由、
前田美穂
西砂教室：今泉麻公子、後藤恵子

【休会者】

木曜教室、土曜教室、西砂教室：なし

今後の予定

- ・ボランティア懇親会：6月9日（日）
- ・木曜教室七夕祭り：7月4日（木）
- ・土曜教室七夕祭り：7月6日（土）
- ・土曜教室ボランティア研修会：7月6日（土）
- ・木曜教室ランチパーティー：7月18日（木）

5月から7月の「えんがわサロン」の予定

- ・5月24日（金）柴崎会館→日本のお菓子（柏餅）
- ・6月28日（金）柴崎会館→世界の簡単料理（台湾）
- ・7月26日（金）柴崎会館→日本のお菓子（水ようかん）

立川国際友好協会
<http://tifa-class.net>



TIFA企画
<http://tifa-k.net>



西砂教室
<http://tifa-n.net>

